

第241回一関市教育委員会臨時会 会議録

1 開催日時

開会 令和4年11月7日（月）午後1時30分

閉会 令和4年11月7日（月）午後1時52分

2 会議の場所

教育委員室

3 出席者

教育長 小 菅 正 晴

委員 伊 藤 一 志

委員 佐 藤 一 伯

委員 桂 島 加奈子

委員 大 浪 友 子

4 会議に出席した関係者及び職員

教育部長

及 川 和 也

教育部次長兼学校教育課長

菅 原 正 樹

教育総務課長

遠 藤 実

教育総務課庶務係長

細 川 圭 子（記録）

5 議題及び議決事項

教育長職務代理者の指定について

6 その他

スクールバス車内に児童を置去りにしたまま業務を終えようとした件について

7 会議の議事

○教育長 ただいまから第241回一関市教育委員会臨時会を始めます。

教育長職務代理者の指定について

○教育長 議事日程第1、教育長職務代理者の指定につきまして、事務局から仕組みにつ

いて説明願います。

教育部長。

○教育部長 (説明)

○教育長 それでは教育長が指名するという事になっておりますので、私のほうから指名させていただきます。

教育長職務代理者については、伊藤一志委員にお願いしたいと思っております。突然で申し訳ありませんが、よろしく願います。

伊藤委員は年長者でありますし、学校教育が教育委員会の中で多くの話題を占めておりますが、学校教育のキャリアもありますので伊藤委員にお願いしたいと思っております。

これについて皆さんから何か質問ありますか。よろしいですか。

それでは、伊藤委員よろしく願います。

その他 スクールバス車内に児童を置去りにしたまま業務を終えようとした件について

○教育長 3番のその他に入ります。スクールバス車内に児童を置去りにしたまま業務を終えようとした件について資料をお配りいたします。

概要について私のほうから説明いたします。

(説明)

この件について、教育部長のほうからもう少し詳しく説明いたします。

○教育部長 (説明)

○教育長 質問がありましたら願います。

佐藤委員。

○佐藤委員 この件は運転手さんから学校に報告があつて、学校から教育委員会のほうに報告があつたという流れでしょうか。

○教育長 教育部長。

○教育部長 この件が起きた当日に運転手からの報告は無く、次の日、3日は休日でしたが、児童の父親からバス会社のほうにこのような事案があつたが報告は行っているかという電話がありましたが、会社には報告が来ていなかったのが会社が運転手に確認をいたしました。4日金曜日に市の担当課に連絡があり、担当課から教育委員会に連絡が来たという流れでした。

○教育長 土日にこちらのほうでも聞き取りをしましたが、公表の判断も最終的には本日の朝に決めたところです。

伊藤委員。

○伊藤委員 県教委には報告されたのですか。

○教育長 これからです。

○伊藤委員 今後、これに関して何か臨時の会議をするというようなことは、考えられるのでしょうか。

○教育長 今の段階では、大きな事故にはつながらなかったのですが、大きな事案であると捉えて公表することにしましたけれども、このあとについては各支所、運転事業所、個人運転手を集めてこの事案を説明し、二度とないような策をとりたいと思います。ですから教育委員会議としては今回の報告だけの予定であります。

桂島委員。

○桂島委員 当日、おばあさんが迎えに来ていたということですがけれども、運転手さんからご家族の方には説明はなかったのですね。無事だったからいいかということで終わって、児童のお父さんから会社に連絡が行ったということですね。バスに乗る子どもに、何かあったらクラクションを鳴らすような指導があったのか、その子がたまたま知っていたのか、バスに乗る子ども達への指導があったのか教えてください。

○教育長 教育部長。

○教育部長 運転手から家族に対して説明があったかどうかは、まだこちらでは把握していませんが、ちょうど今担当課のほうで詳細の聞き取りを行っているところです。今回、児童がクラクションを鳴らしたのは、児童のお父さんが何かあったらクラクションを鳴らすようにとの話を普段からしていたそうです。学校で何かあった時にクラクションを鳴らすなどの指導はこれまでは行ってはいないと思いますが、今後はそういった指導も必要になってくると考えています。

安全装置については、国のほうでも幼稚園バスについては来年の6月までに設置することを義務付けるということで、エンジンを止めるとブザーが鳴って、運転手が後ろまで行って解除しないとブザーが止まらないというようなものを幼稚園バスにはつけることとなりますが、小学校のバスまでは想定していなかったところです。まずは再発防止を徹底したいと思います。

○桂島委員 今の安全装置の話ですが、運転手さんが急いでいて、ただブザーを止めるだけになってしまうと意味がないので、足元のほうでぐっすり眠ってしまうと見えない場合もありますし、ただ止めるだけではだめなので、バス会社にも徹底していただきたいと思います。具体的な再発防止策を示していただきたいので、決まったら教えていただきたいと思います。

○教育長 今の段階では確認するということはもちろんですが、業務終了と同時に記録することにしますので、今はアルコールチェックについて記録していますが、それに加えて後部座席の確認を記入事項とし、同時に口頭でも報告することとし、事業所や市などに報

告するというところまで求めたいと思っています。これらのことについては、このあと支所ごとに対面での会議を設けて、委託業者に来ていただいてそのような話をしたいと思っています。人為的な部分でありますので、完全に100%ということはありませんが、繰り返し繰り返し注意喚起をしていきたいと思っています。あえて公表するというところについてもリスクはあると思います。面白おかしく取り上げられると、話がオーバーになってしまうことも気を付けなければならないのですが、公表することによって市内の業者もより注意することになると思いますので、そういう意味では包み隠さず話すことが社会的に大事であると考えましたので、そういったバランスも考えて判断したところです。正直言って迷うこともありました、市長と連携をとりながらそういった判断をしたところです。

○教育長 大浪委員。

○大浪委員 小学1年生ということで、置き去りにされたということが心の傷というか、スクールバスに乗ることへの恐怖などを感じていないかというのが気になりますし、この運転手さんが4人乗ったという思い込みがあったということです、乗るときに人数確認が徹底されていないというのが気になりました。

○教育長 教育部長。

○教育部長 子どもさんの様子については特にショックを受けているなどということはないとのこと。

○教育長 確認の部分について、学校教育課長。

○学校教育課長 実際のところ、乗る子ども達のリストはありますが、その日にどの子が乗ったかというところまで運転手さんは把握していないところ。もし把握したとしても降りるたびにチェックしないといけないので、そうすると停車時間が長くなるとか、運転手さんの負担もあり、実際の名簿チェックは難しいところがあると思います。

○教育長 今回の事案のバスは人数も少ないこともあって、普段は誰が乗ったかというのは把握して運行しています。今回は人数を誤って、誰が乗ったかという部分で混乱したのだと思います。その食い違いがこういう結果につながったのだと思います。ただ最終的な確認さえすれば防げますので、最終的な確認をしなかったところに一番大きな原因があったというように思います。

それではこの部分については今後の委員会の中でも報告させていただきますのでよろしくをお願いします。

以上で第241回一関市教育委員会臨時会を修了します。